

秋田県立大学 図書館だより



No. 14 2007.1

》》》》》》》》》 目次 《《《《《《《《《

雑感、読書について

公立大学法人秋田県立大学理事長兼学長 小林 俊一.....	1
資料紹介-JCR (Journal Citation Reports)	3
利用案内-OPACのマイライブラリ機能について.....	4
図書館からのお知らせ.....	6



雑感、読書について

公立大学法人秋田県立大学理事長兼学長 小林 俊一

うっかり引き受けたものの、よく考えてみると私にはこの欄に何かを書くという資格はなさそうに思える。いわゆる読書家ではないし、ひとに読書を勧めるほどの見識もない。しょうがなしに本や図書館について、思いつくままにつづってみることにする。

私は学部と大学院を大阪大学で過ごした。理学部は現在、豊中の郊外にあるが、私の博士課程2年(1966年)までは大阪駅から歩いて20分ほどのビジネス街、中之島にあった。中之島というのは堂島川と土佐堀川に囲まれた旧淀川の

中州で、江戸時代から商業の中心地だった。理学部の建物は1931年にできたが、道を隔てた大ビル(大阪ビルヂング)は1925年の建築という黎明期の本格的な8階建てビジネスビルで現存し、威容を誇っている(最近東京秋葉原にできたダイビルは同系列)。図書館は理学部と医学部の共用だった。図書館で勉強していて司書に呼び出されるとき、理学部の学生は「さん」づけ、医学部の学生は「先生」づけだったのは奇妙な気がした。中之島の研究室で実験に疲れ、夕刻に歩いて5分ほどのフェスティバルホール

へでかけてコンサートを楽しみ、また大学に戻って実験を続け、10時頃に出てまだ闇市の雰囲気があふれていた「阪神裏」でいっぱいやってから帰宅するというすばらしかった数年が忘れられない。今でも、大学は都心にあるべしと思っているが、この県大はその点においては残念としかいいようがない。

学位を取ってから2年足らずをパリ大学で過ごした。大学の図書室が24時間開いているのに感心した。この滞在中に George Simenon の Maigret 警視ものにはまってしまって、その後数十冊のシリーズのほとんどを買い集めることになった。今でも黄色くなったのを引っ張り出しては愛読している。

1968年から30年もの長きにわたって東大に居た。理学部物理の図書委員を何度かやって、公德心に欠ける教授たちとやりあったことを思い出す。本郷キャンパスには威風堂々の総合図書館があるが、大学紛争のさなかに、その立派な玄関前で、何を言っているのかさっぱり分からない山本義隆全共闘議長の演説の横に、山本に腕を捕まれた加藤一郎総長代行が無然と立っていたのをみた。この山本氏は当時物理の院生で、のちに予備校の看板教師になり、先だって「磁力と重力の発見」で大佛次郎賞をとられた。

余談だが、総合図書館の広大な階段を上がったところに、ショパンの手の石膏型があり、その指の長さに感心したものだ。その手は、ワルシャワのショパン記念館に保管されているものの複製だそうだ。1980年代、館長であった裏田先生の繋がりから東京大学に寄贈されたもので、輸送中2度破損し、3度目に無事到着したという逸話がある。



中学生の頃は貸本屋で借りた山手樹一郎、吉川英治あたりで喜んでいたら、まわりの友人たちがトルストイ、ドストエフスキーなどを論じているのを聞いて本当にあわてふためいた。これはならじと世界文学全集を親にねだり、懸命に追いつこうとした。ジャン・クリストフに登場のどの女性が素敵かなどと不埒なことを高校の友人と口角泡を飛ばしたりもした。

物理の専門書を除けば、今の私の本棚は貧相としかいいようがない。まとまった蔵書としては前述の Maigret シリーズと泉鏡花選集くらいである。かつて持っていた世界文学全集や日本古典大系などはとくに散逸してしまっていて跡形もない。鏡花は近頃ははやらないようだが、文学としての価値はさておき、私は彼の日本語が最高であると思っている。「注文帳」、「歌行燈」、「照葉狂言」などを音読するのは至福である。

このようにたいそう偏った貧読家(?)であるので「図書館だより」の巻頭言を引き受けるなどは烏滸の限りであろう。それにもかかわらず厚顔にも県立大の赤表紙の最新パンフレットに「広く文学や哲学にまで視野と教養を広げ、云々」と書いてしまった。これは全くの自戒であることを白状しなければならない。引退したら思い切り本を読んでやろうとは思っているのだが、できるかどうかははなはだ心許無い。

資料紹介 - Journal Citation Reports

Journal Citation Reports (JCR) とは？

Journal Citation Reports (JCR) では、学術雑誌の、

- ・他の文献に引用された回数
- ・他の論文を引用した回数
- ・雑誌が発行されてから引用されるまでの期間 等

を集計し数値化することによって、学術雑誌の重要度・影響度を知ることができます。

これにより、研究分野毎にどの雑誌が重要視されているかが分り、研究者が自分の論文を投稿する雑誌を選定する際などの参考とすることができます。

どんなデータが収録されているのか？

Cited Journal Listing (被引用誌リスト)

その雑誌がよく引用されている雑誌の一覧を表示します。このことにより、共通の主題を取り扱う雑誌のグループを知ることができます。

Citing Journal Listing (引用誌リスト)

被引用誌リストとは逆に、その雑誌がよく引用している雑誌をリストアップしています。

Source Data (収録論文データ)

その雑誌が総説論文または原著論文を多く掲載しているか、その原著・総説の割合、及びそれぞれいくつ論文を引用しているかを示します。

Impact Factor (文献引用影響率)

1年間でその雑誌に掲載された論文が平均でどれくらい頻繁に引用されているかを示します。この数値が、その雑誌の重要度の目安となります。

Immediacy Index (最新文献指数)

1年間でその雑誌に掲載された論文が、いかに多く同年中に引用されているかを示す指数です。この数値が高いほど、その時点での注目分野を多く扱う、トレンドな雑誌と言えます。

Cited Half-life (被引用半減期)

1年間でその雑誌が引用された回数を年度別に遡り、その累計百分率比が50%になる年に至るまでを算出します。この数値は、文献が引用され続ける期間の尺度、いわゆる文献の寿命を表します。

利用方法

Journal Citation Reports (JCR) は1年毎にCD-ROMになっています。目的の年のCD-ROMの利用をカウンターまで申し込んで下さい。館外貸出はできませんので、図書館内のCD-ROMコーナーで閲覧します。

※ 注意 ※

JCRは1998年以降が所蔵されています。偶数年は秋田キャンパス、奇数年が本荘キャンパスの所蔵となります。ご希望の年が別キャンパスに所蔵されている場合は、取り寄せ期間が必要となりますので、数日前までに申し込んで下さい。

利用案内－OPACのマイブラ機能について

OPAC画面から、個人利用のページにアクセスできるようになりました。
このページでは、以下のようなサービスを行っています。

- ・貸出中の図書の情報を確認する
- ・貸出中図書の返却期限を延長する（貸出期間内に1回のみ限定）
- ・他の利用者が借りている図書の予約をする
- ・資料情報をブックマークし、自分だけの資料リストを作成する

使い方

マイブラリへアクセスするには、利用者ID（学籍番号・教職員番号）と、図書館が発行する初期パスワードが必要です。
利用を希望する方は、所属キャンパスの図書館カウンターまでお申し込み下さい。

- ・ URL : <http://libwww.akita-pu.ac.jp/mylimedio/> からログインします。

The image shows two screenshots of the library's OPAC system. The left screenshot shows the main menu with a callout box pointing to the 'ログイン' (Login) link under the 'マイブラリ' (My Library) section, with the text 'ここをクリック！' (Click here!). The right screenshot shows the login form with callout boxes: one pointing to the 'ログイン' button with the text 'ユーザー ID を入力します' (Enter user ID), and another pointing to the password field with the text 'パスワードを入力します' (Enter password). The login form includes fields for '利用者ID' (User ID) and 'パスワード' (Password), and buttons for 'ログイン' and 'キャンセル' (Cancel). Below the form, there is a warning: 'マイブラリでの操作は必ずログアウトしてください。' (Please log out after using My Library).

※※ ログインしたままの放置にご注意 ※※

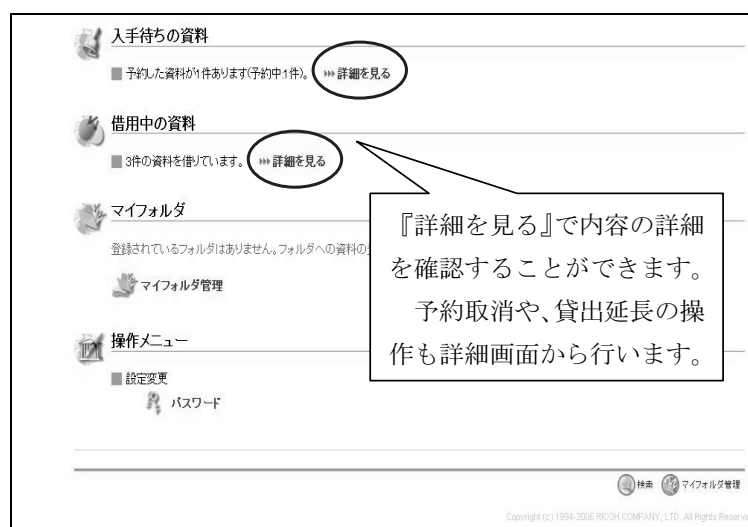
The image shows the library's OPAC user interface after login. The top navigation bar includes 'ヘルプ' (Help) and 'English'. The main header displays 'ようこそ、秋田こまちさん' (Welcome, Akita Komachi) and a red 'ログアウト' (Logout) button. Below the header, there are search and account management options. A callout box points to the 'ログアウト' button with the text: '利用が終わったら、必ずログアウトを！ (画面右上にある、赤い『ログアウト』の文字をクリックして下さい)' (After use, please log out! (Click the red 'Logout' text in the top right corner of the screen)).

一度ログインすると、一定時間内はログイン状態が維持されます。

共有の端末でマイブラリを利用し、ログアウトしないまま放置した場合、第三者にあなたの貸出情報などの個人情報を知られたり、勝手に予約を取り消されたり等の不正な操作をされる恐れがあります。

マイブラリの利用終了時は、必ず画面右上からログアウトを行い、ログインを終了するようにして下さい。

- 一覧が表示されます。



【メニュー一覧】

お知らせ

図書館から利用者へのお知らせや、延滞通知等が表示されます。

新着情報

ここでキーワード等の条件を登録しておくこと、一定期間内の図書館新着図書の中から、合致するものを表示します。

入手待ちの資料

資料の予約をした場合、その情報を表示します。(予約できるのは、貸出中の図書のみです)

予約の取消等を行うことができます。予約を掛ける手続は、蔵書検索の結果表示画面から行います。

借用中の資料

現在借りている図書の情報が確認できます。

返却期限内ならば、この項目から貸出の延長手続をすることも可能です。(一冊でも返却期限が過ぎていると延長はできません。延長は一冊につき一度だけです)

マイフォルダ

ここに個人的なフォルダを作成し、検索結果をブックマークしたものを保存して「自分だけの資料リスト」を作ることができます。

ブックマークしたデータは、ダウンロードしたり、メールで送信することも可能です。

• 操作がわからない時は…

画面右上の『ヘルプ』から、ヘルプページをご参照下さい。

また、図書館カウンターまでお問い合わせ下さい。

※※ 操作メニュー — パスワードの変更について ※※

マイライブラリのメニュー画面の一番下、『操作メニュー』より使用しているパスワードを変更することができます。

変更した後のパスワードは、図書館側で知ることはできません。

パスワードを変更した場合、分かるのは利用者本人のみとなりますので、パスワードは絶対に忘失しないようご注意ください。

また、パスワードが漏洩すると、他者に個人情報(どんなものを読んでいるのか、という情報も個人情報になります)を覗かれたり、パスワードを勝手に変更されてマイライブラリにアクセスできなくなってしまうといった危険がありますので、他人にパスワードを教えないようにして下さい。

誕生日の数字など、簡単に類推できるようなパスワードにすることも止めて下さい。

図書館からのお知らせ

※ SpringerLink オンライン・アーカイブ利用開始について

2007年1月より、SpringerLink オンラインジャーナル・サービスの1996年以前のアーカイブの利用が可能となりました。(一部閲覧できないものもあります)

利用方法は、従来と同様に学内から<http://www.springerlink.com/> へアクセスしてご利用下さい。
また、<http://reo.nii.ac.jp/journal/HtmlIndicate/html/index.html> からもご利用できます。
(アーカイブのみ)

※ 卒業予定者の館外貸出について

平成19年3月の卒業予定者への図書館資料貸出の最終返却期限は2月28日となります。
3月1日以降は卒業予定者への資料の貸出はできません。
貸出中の資料は、必ずこの日までに返却するようお願いします。

1月15日(月)より、平日の開館時間が午前8時30分からになりました！
始業前の空き時間に、ぜひご利用下さい。

※開館時間の変更は3月末までの試行です。また、土日祝日の開館時間は朝9時からです。

1月～3月の図書館開館スケジュール

2007年1月							2007年2月							2007年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31

<input type="checkbox"/>	平日	1月15日～2月9日	8:30～19:00	19:00～22:00 (無人開館)
<input type="checkbox"/>		2月13日～3月	8:30～17:00	17:00～22:00 (無人開館)
<input type="checkbox"/>	土日祝日	1月14日～2月10日		9:00～19:00 (無人開館)
<input type="checkbox"/>		2月11日～3月		9:00～17:00 (無人開館)

* 2月28日(火)は館内整理日のため、8:30～17:00閉館、17:00～22:00無人開館となります。

秋田県立大学 図書館だより No.14 2007年1月発行

秋田県立大学 図書・情報センター <http://www.akita-pu.ac.jp/library/lib.html>

●秋田キャンパス

〒010-0195

秋田市下新城中野字街道端西241-438

TEL018-872-1561 FAX018-872-1674

E-mail:a_library@akita-pu.ac.jp

●本荘キャンパス

〒015-0055

由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL0184-27-2049 FAX0184-27-2185

E-mail:h_library@akita-pu.ac.jp

※ご意見・ご要望等をお寄せください。